

経費削減策として2006年度、121台の公用車全廃を決めている大阪市は27日、正副議長車など議会事務局の高級公用車4台の入札を実施。総額1011万7000円で落札された。6日には関淳一市長や助役らの6台を計1858万5000円で同様に売却しており、合わせて2870万2000円の臨時収入となった。

正副議長の 公用車も売却

正副議長車のトヨタ・センチュリー2台と、議会事務局の事務用車2台（同・クラウン）。31企業・個人が参加し、2003年3月購入で最も新しい副議長車が、前回の入札で最高額だった市長公用車の売却価格（430万円）より高い550万円で落札された。4台の購入価格は、計2500万円だった。正副議長の公用車は、6月からハイブリッド車のリース契約に切り替える。

大阪市 4台で1011万7000円

平成18年4月28日 産経新聞

市政改革の一環として、二業者が計約一千十万円で購入した正副議長車のトヨタ・センチュリー2台と、議会事務局の事務用車2台（同・クラウン）を、3月で廃止した正副議長の公用車（トヨタ・センチュリー）2台と事務用車（トヨタ・クラウン）2台の計4台を売却

する一般競争入札を実施した。その結果、議長車は353万9000円、副議長車は550万円など、総額1011万7000円での売却が決まった。

正副議長車は、環境に配慮したハイブリッド型のリース車に変更されるが、リース開始は6月から。現在は、別の事務用車（トヨタ・クラウン）2台を使用しており、リース開始後、この2台も売却される。

【堀川剛護】

大阪市の正副議長車と、議会事務局の事務用車2台（同・クラウン）を、3月で廃止した正副議長の公用車（トヨタ・センチュリー）2台と事務用車（トヨタ・クラウン）2台の計4台を売却

する一般競争入札を実施した。その結果、議長車は353万9000円、副議長車は550万円など、総額1011万7000円での売却が決まった。

正副議長車は、環境に配慮したハイブリッド型のリース車に変更されるが、リース開始は6月から。現在は、別の事務用車（トヨタ・クラウン）2台を使用しており、リース開始後、この2台も売却される。

【堀川剛護】

平成18年4月28日
毎日新聞

一般競争入札で 公用車4台売却

大阪市議会事務局

大阪市議会事務局は二十七日、同局が所有する公用車六台のうち、三月末まで正副議長用として使用していた公用車二台

を含む計四台の一般競争入札を行い、計千十一万七千円で落札されたと発表された。

市議会事務局は所有していた公用車六台のうち、議長と副議長用の公用車トヨタ「センチュリー」二台を本年度からリ

平成18年4月28日
日日新聞

リースに切り替え、残る事務用車トヨタ「クラウン」四台を廃止している。

議長用のセンチュリーは二〇〇〇年に約千八十六万円で購入していたが、大阪市内の中古車販売業者に三百五十三万九千円で落札された。〇三年に約千六十四万円で購入した副議長用は五百五十万円で落札された。

同局は現在正副議長用として転用している、今回売却されなかった残り二台のクラウンについて、六月からのリース開始後に今回と同様に一般競争入札を行うことになっている。

大阪市幹部「ぜいたくの象徴」売却

公用車6台、1858万円

大阪市幹部のぜいたくぶりの象徴とされてきた最高級の公用車を民間に売却する入札が6日、同市契約課であった。高コスト体質を指摘された大阪市の改革の一環で、今年度中に事務用公用車計120台を売却する計画。午前中の入札で6台が計1858万円で売れた。



入札前日、大阪市役所の地下駐車場に並んだ最高級車を下見する中古車販売業者ら＝5日、大阪市北区で

売却されたのはトヨタのセンチュリー5台と日産のプレジデント1台。関淳一市長や昨年まで3人いた助役(現在2人)、来客用の予備車などで、すべて市長室の管理車両。市長用センチュリーは3年前に約1千万円で購入したが、430万円で落札された。前日に車を査定した業者は「一般に流通しにくい車種なのであまり高い金額はつげられない」。

事務用公用車の廃止は昨年5月、関市長がコスト削減の手に始めに打ち出した。他にも議長、副議長用のセンチュリーをはじめ、24区長や各局の事務職員が使っている公用車計115台があり、一部を安全巡視用の青パトに転用するものの、他は原則売却する。リース車と派遣運転手に切り替えることで、市長室だけで専属運転手の人件費を含めて年約1億円かかっていた運行経費が、3千万円に削減できる見込み。

この影響で、事務用公用車の専属運転手だった約100人が区役所などに配置転換され、地域の安全パトロールなどに従事するために現在、研修中。公園の遊具の点検の仕方や、子供や高齢者との接し方を2週間にわたって学んでいる。

平成18年4月7日 読売新聞

大阪市は6日、経費削減策として、コスト高が指摘されていた関淳一市長や助役ら専用的高级公用車6台を売却する一般競争入札を行った。企業や個人の延べ79者が参加、中古車販売会社やレンタカー会社など4社が総額1858万5000円で落札した。

トヨタセンチュリー5台と、日産プレジデント1台で、市が各約1000万円で購入。2003年に導入された市長専用のセンチュリーはマッサージ機能が付いた豪華版で、最も多い15者が入札に加わり、落札額はこの日の最高の430万円。落札した中古車販売会社は、安く仕入れることができた。市長が乗っていたことは価値にならない。転売すること話していた。

市は今後、正副議長用のセンチュリー2台をはじめ、幹部用の公用車など残り115台も原則、売却し、順次、ハイブリッド車のリース契約などに切り替える。

公用車6台 1858万円落札

* 経費削減で大阪市売却

リはマッサージ機能が付いた豪華版で、最も多い15者が入札に加わり、落札額はこの日の最高の430万円。落札した中古車販売会社は、安く仕入れることができた。市長が乗っていたことは価値にならない。転売すること話していた。

市は今後、正副議長用のセンチュリー2台をはじめ、幹部用の公用車など残り115台も原則、売却し、順次、ハイブリッド車のリース契約などに切り替える。

平成18年4月7日 産経新聞

大阪市長や助役らの公用車6台

1858万円で落札

大阪市が市政改革の一環として全廃することを決めている公用車のうち、市長と助役用などの黒塗りの高級セダン型公用車6台の入札が6日行われ、四業者が計千八百五十八万五千円で落札した。今回入札されたのは、トヨタ「センチュリー」5台と日産「プレジデント」1台。市長と助役用に計四台が、来賓用に二台がそれぞれ使われていたが、市長用のセンチュリーが最も高い四百三十三万円で落札されたのをはじめ、他五台は三百五十五万一千六百六十六万円で落札されたものに換える。

関淳一市長と助役に、すでに市長室が事務用に所有している別の公用車を使っており、運転手は外部委託。九月にはハイブリッド車をリースする方式に変更し、車、運転手ともに外部のものに換える。

平成18年4月7日 日日新聞

公用車6台を 1800万円で売却

市政改革一環で大阪市

大阪市は6日、税金の無駄遣いと指摘されてきた市長用などの高級公用車6台の一般競争入札を行い、計千八百五十八万五千円で落札された。市は保有する公用車二百二十一台の見直しを行っており、今後、売却や地域安全対策のパトロール車への転用を進める。

この日、売却された高級公用車6台の内訳はトヨタのセンチュリー5台と日産のプレジデント1台。このうち関淳一市長用のセンチュリーは二〇〇三年に約一千万円で市が購入していたが、四百三十三万円で堺市の中古車販売業者が落札した。

このほか井越将之助役用のセンチュリーが二百六十四万円、柏木孝助役用のセンチュリーが三百五十五万円で落札された。

公用車の見直しは同市が進める市政改革の一環。高コスト体質と指摘される公用車の売却を進める一方、児童・生徒の通学路を巡回する「青パト」への転用を計画している。

市市長室によると、関市長は今月からすでに市が所有する日産のセドリックを使用。運転手は民間に委託しており、三月末まで市長と助役の専属運転手を務めた市職員十人は区役所に配置転換され、地域安全パトロール要員となっている。



市長用をはじめ6台が売却された大阪市の高級公用車